

2022年11月4日
プレスリリース No.024-22

アートとは何か？ 第一線のプロが語る

連続美術講座「視覚芸術と空間／美術と美術館」

静岡文化芸術大学では、「美術」に関わる人と場の実際を紹介する連続講座を開催します。

本学では、これまで「アーティストをささえる」、さらには「芸術文化をささえる」場の第一線で活躍する、各界専門家の話を聞く講座を開講してきました。今回は、南條史生、藤原工、榎田倫之の各氏を招き、「美術(作家、作品、空間)」を生みささえる現場の最前線に主眼を置いた講座を開講します。

■「アートを生きる」を体現してきたプロフェッショナル - 南條史生

これまで国際交流基金、ICA 名古屋ディレクター、ナンジョウアンドアソシエイツ(現エヌ・アンド・エー)、森美術館館長などを歴任し、文字通り“アートと生きて”きた南條氏。ル・コルビュジエ、草間彌生、村上隆などの展示を企画し、現代美術のキュレーターとして第一線で活躍してきました。

本講座テーマ名と同名の著書『アートと生きる』(角川書店、2012年)では、「『アートは大事だ、心の糧だ』と言葉続けてきた。ただ、その言葉で説明できないものがアートの本質。」と言います。アートとは何だろうか、という問いを生みささえる南條氏が、これまでの経験をふまえ、「アートを生きる」を語ります。

■概要

【開催日】

第1回:2022年11月11日(金)

第2回:2022年11月25日(金)

第3回:2022年12月16日(金)

【時間】各回とも 18:30～20:30 (開場:18:00)

【会場】静岡文化芸術大学 講堂

【主催】静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

【後援】NHK 静岡放送局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社

【入場料】無料(要事前申込)

【講師】第1回 「アートを生きる」 南條史生氏

第2回 「アートを生かす」 藤原 工氏

第3回 「アートを見せる」 榎田倫之氏

※各回とも、前半は講師による講演、後半は本学の梅若猶彦教授(芸術文化学科)との対談を開催します。





公立大学法人

静岡文化芸術大学

| 令和4年度(2022) | 公開講座 |

連続美術講座

視覚芸術と空間 / 美術と美術館

- 南條史生・藤原工・榎田倫之 -



第①回講座 令和4年 **11月11日** (金)

18:30~20:30

「アートを生きる」 講師: 南條史生

〈美術評論家、エヌ・アンド・エー(株)代表取締役、森美術館特別顧問〉

第②回講座 令和4年 **11月25日** (金)

18:30~20:30

「アートを生かす」 講師: 藤原工

〈美術照明家、照明デザイナー、(株)灯工舎 代表取締役〉



第③回 令和4年 **12月16日** (金)

18:30~20:30

「アートを見せる」 講師: 榎田倫之

〈建築家、(株)新素材研究所 代表取締役〉



Photo:Masahiro Sanbe

対談:梅若猶彦(静岡文化芸術大学教授、能楽師シテ方) / 司会:立入正之(静岡文化芸術大学教授)

静岡文化芸術大学 講堂 / 入場無料(要事前申込)

主 催 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

後 援 NHK 静岡放送局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社

開 場 時 間 各回とも 18:00

お問い合わせ 静岡文化芸術大学 地域連携室 TEL:053-457-6105 FAX:053-457-6123 E-mail:chiiki@suac.ac.jp

静岡文化芸術大学では、「美術」に関わる人と場の実際を紹介する連続講座を開講します。

本学では、これまで「アーティストをささえる」、さらには「芸術文化をささえる」場の第一線で活躍する、各界専門家の話を聴く講座を開講してきました。今回は、南條史生、藤原工、榎田倫之の各氏を招き、「美術（作家、作品、空間）」を生みささえる現場の最前線に主眼を置いた講座を開講します。

第①回 11/11 (金) 18:30~20:30 「アートを生きる」



講師：南條史生

慶應義塾大学経済学部(1972年)、文学部哲学科美学美術史学専攻(1977年)卒業。国際交流基金(1978~1986年)、ICAナゴヤ(1987~1990)を経て、1990年ナンジョウアンドアソシエイツ(株)(現エヌ・アンド・エー(株))設立。2002年より副館長として森美術館設立に参画、2006年11月から2019年まで館長、2020年1月より特別顧問。国際的には、ヴェニス・ビエンナーレ日本館(1997年)、台北ビエンナーレ(1998年)、横浜トリエンナーレ(2001年)、シンガポール・ビエンナーレ(2006年/2008年)茨城県北芸術祭(2016年)、ホノルル・ビエンナーレ(2017年)、北九州未来創造芸術祭-ART for SDGs-(2021年)等のディレクターを歴任。著書に「アートを生きる」(角川書店、2012年)等がある。

〈美術評論家、エヌ・アンド・エー(株)代表取締役、森美術館特別顧問〉

第②回 11/25 (金) 18:30~20:30 「アートを生かす」



講師：藤原工

美術照明家・光文化研究家・照明デザイナー、(株)灯工舎代表取締役。姫路出身。1991年筑波大学芸術専門学群卒業。パナソニック電工(株)でテーマパーク・建築(主に美術館・博物館)の照明デザイン、コンサルティングに携わり、2011年退社。2012年、灯工舎を設立。全国の美術館・博物館や寺社仏閣の照明コンサルティングのほか、正倉院展~現代アート、古今東西のあらゆる分野の展覧会のライティングを行う。

静岡文化芸術大学・金沢美術工芸大学・武蔵野美術大学・岡山県立大学非常勤講師。

〈美術照明家、照明デザイナー、(株)灯工舎 代表取締役〉

第③回 12/16 (金) 18:30~20:30 「アートを見せる」



Photo:Masahiro Saito

講師：榎田倫之

1976年滋賀県生まれ。建築家。2001年、京都工芸繊維大学建築学専攻博士前期課程修了後、株式会社日本設計入社。2003年、榎田倫之建築設計事務所設立後、建築家岸和郎の東京オフィスを兼務する。2008年、現代美術作家・杉本博司と新素材研究所を設立。現在、榎田倫之建築設計事務所主宰、京都芸術大学非常勤講師、宇都宮市公認大谷石大使。杉本博司のパートナー・アーキテクトとして数多くの設計を手がける。2019年第28回BELCA賞など受賞多数。

入場無料(要事前申込)

※申し込み方法については、別途、静岡文化芸術大学公式Webサイト等を通じてお知らせします。

【会場】

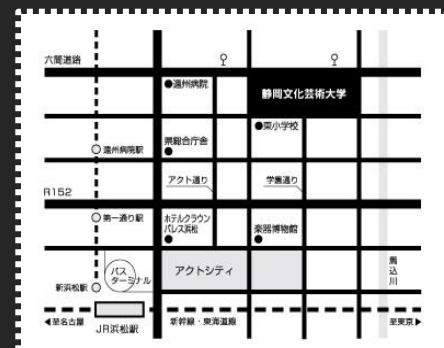
静岡文化芸術大学 講堂(定員:250名)

本学には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

- ・JR浜松駅より徒歩15分
- ・遠州鉄道「遠州病院前」下車徒歩8分
- ・遠鉄バス「文化芸術大学」下車

【お願い】

- ・ご入場の際は必ずマスクをご着用下さい。
- ・受付での検温や手指の消毒にご協力下さい。
- ・発熱・咳などの痛み等の症状のある方はご入場いただけません。



フライヤー・デザイン 立石芽生(芸術文化学科4年)

対談：梅若猶彦

(静岡文化芸術大学教授、能楽師シテ方)



司会：立入正之 (静岡文化芸術大学教授)